

# 都市計画マスタープラン(改定)素案に頂いたご意見と瑞穂市の考え方

## 意見募集(パブリックコメント)

番号	意見内容	瑞穂市の考え	関係部署
1	<p>【南地域 横屋地区 JRと国道21号との間の地域を住宅地に変更する件について】</p> <p>現在は非常に素晴らしい農地となっております。そこをあえて市街化区域に変更する必要があるのでしょうか。なぜなら、調整区域を市街化区域に変更するには、もっと他の場所があるのではないのでしょうか。あれほど綺麗な農地の地目を変更すると、地主の方々の税金負担も極端に増えてしまいます。そして、その地域の地主さんたちの多くは瑞穂市以外の南部に住んでおられます。その方々の意見も聴いておられるのでしょうか。返って、ばらばらな開発になってしまう恐れが出てきます。したがって、この地域の無理な地目変更は必要ないと思います。</p>	<p>上位計画である「岐阜都市計画区域マスタープラン」に、国道21号沿線で「周辺環境との調和に配慮しながら商業機能、並びに自然豊かで快適な居住機能を維持、形成する土地利用を検討する」との方向が示されており、それを踏まえた方向性を位置づけています。この地域は、国道21号、市道西部環状道路の計画が位置づけられていることや、樽見鉄道横屋駅周辺であることなど、交通便利性に優れた地域であります。このようなポテンシャルの高さを十分に生かすためにも、市街化編入を視野に入れ、拠点化を図っていきたくと考えています。事業化にあたっては、地元の方々のご意見を十分に伺いながら、まちづくりの実現に向けて、取り組んでいきたいと考えています。</p>	都市開発課
2	<p>馬場地区における糸貫川掘削工事敷地を、自転車交通安全公園として、親子でバイシクルモトクロスを楽しむことのできる施設として活用してはいかがでしょうか。バイシクルモトクロス(通称:BMXはオリンピック競技)は、子供たちの最も身近な移動ツールの自転車を使って、ルールやマナーに基づいて楽しむ事のできるスポーツです。定期的に自転車安全講習会を開催し、自転車での交通モラル向上を図ります。岐阜エリアにはBMXのコースが存在しないため多くの利用者が見込めます。エリア内での移動販売車を受入れ、飲食及び物品販売や各種サービスの経済効果等。</p>	<p>河川空間の活用については、都市計画マスタープランの「水・緑づくりの方針」のなかに、親水空間の整備等の方針が示されていますが、本市には18本の一級河川があり、河川敷等の有効な活用方法として、活動の場としての位置づけも必要であると考えます。しかし、ご提案を頂いたご意見から想像すると、河川敷の土地形状の変化に伴うと推測されます。河川敷の土地形状を変更する場合には、河川法に基づき河川管理者の許可を得なければなりません。ご提案のBMX競技場は困難と思いますが、それ以外の活用を視野に入れて考えていきたいと思っています。</p>	都市開発課
3	<p>仮称大月公園の記載が重点施策に無い。教育委員会との調整がまだできていないとのことであるが、この地域は、平成10年の旧巣南町土地改良事業で、浄化処理場周辺に町に売ってもいい、貸してもいい人の農地を町のタウンセンター構想の一環として要望に基づいて換地したものであります。</p> <p>現在は市が所有している土地であり、下水処理場などの他の公共事業と違い、民間から買取り行為もなく、地域住民との調整もなしに、自由に市単独で整備できる環境にあります。既に、20年近く、何ら具体的な構想もなく、農地のままの状態です。一時、計画の発表がありました。議員や西地区以外からの反対の意見で破棄された経緯があり、現在、何も具体的な利用施設もない状態を毎日現場を見るにつけ、大月区民として嘆かわしい。この計画の完成を望んでいた大月区民の失望も大きい。大月区民ばかりでなく、周辺道路を通過する人も永年に渡り利用されず未利用地のまま放棄されていることを不思議に思っている人も多い。</p> <p>この土地は、市が独自で完成できるものであり、教育委員会との調整がつかない、具体的な計画がないからという理由で記載しないという理由でなく、積極的に公園としての防災拠点、交流拠点としてマスタープランに積極的に明記すべきである。</p> <p>マスタープランは上位計画として、当然に教育委員会と調整をとり、瑞穂市として発表されるもので、内部組織との不調整を理由に明記されないのは残念。当然に、今後、議会の承認を得、プランは市の内部組織は勿論、住民にもこのプラン達成の努力義務が発生するだろう。一刻も早い整備計画の達成を望みます。</p>	<p>今年度取り組んだ庁内の検討会議や中学生みずほ未来プロジェクトでの意見、これまで寄せられた意見を踏まえて、平成29年度には概要をお示ししたいと考えています。また、この地区を含む巣南庁舎周辺については、交流を創出する場として位置づけていく必要があると考えますので修正をします。</p>	生涯学習課 都市開発課

<p>4 中長期のマスタープランの必要性を否定しません。しかし地域別説明会で参加市民の方から「誰がつくった案なのか」、「絵に描いた餅なのか」、「財源の裏づけがあるのか」などの質問がありましたが、参加した市民が納得できる回答はなかったと思います。</p> <p>どの程度の期間を目処にしたプランなのか良くわかりません。これからの30年、50年先には陳腐化したプランになることもあります。</p> <p>人口減少、超高齢化は直近の課題です。長期マスタープランの説明に加えて、5年、10年単位の、より具体的なプランを市民主役、市民参画で検討することが肝要です。</p> <p>都市拠点J R穂積駅(移動をしないことが前提)周辺の穂積地区が妥当ですが、他の6箇所については、市民の意見を聞きながら最適地を選定する必要があります。生活拠点を結ぶ公共交通として、みずほバス云々の話がありましたが、50年後、100年後の公共交通はもっと多様になっていると考えられます。</p>	<p>都市計画マスタープランは、長期的な視点に立ち、将来の都市像やまちづくりの方向性を示すものです。道路や公園などの各事業に関する具体的な計画については、このマスタープランの方針等を基に、事業ごとに実施計画を作成し、事業を進めていきます。</p> <p>改定作業を進めています都市計画マスタープランは、平成37年を目標年次として将来の都市像やまちづくりの方向性を示しています。この計画に基づいて、各事業ごとに実現に向けた作業を実施していくこととなりますが、土地利用などの規制誘導方針や目標年次に事業が完了していない事業などについては、目標年次以降も引き続き計画を継承し、見直しを行いながらまちづくりを進めていくこととなります。</p> <p>人口減少・超高齢社会に向けて、持続可能なまちづくりを目指すべく集約型都市構造の概念を踏まえた計画を策定していますが、拠点の配置については、主要幹線道路等の主要な動線を活かし、生活を支える都市機能の集積や公共交通などの状況を踏まえながら設定をしていきたいと考えています。</p>	<p>都市開発課</p>
---	---	--------------